

中部電力株式会社による電気料金値上げ認可申請に関する意見交換会 意見概要

1. 日 時：平成25年12月11日（水） 14：00－15：52

2. 場 所：桑山ビル貸会議室（愛知県名古屋市）

3. 意見表明者：12名

4. 主な意見

＜他の電力会社にも共通する意見＞

【経営効率化：燃料費、調達、購入電力量、修繕費、減価償却等】

○調達について、随意契約の比率が高いため、できれば全て100%競争入札にして、調達コストを厳しく見た上で値上げを決めていただきたい。入札ができないものについては、その内容をきちんと精査していただきたい。

【原価算定方法・値上げ全般】

- 電気を利用する側にとっては、中部電力から電気を買うしかない状況。事業者による一方的な値上げは許されず、利用者の理解と納得を得ることが大前提であり、そのために徹底した情報公開と一般企業以上の経営の効率化が必要。
- 総括原価方式は、コスト削減の努力がされにくいという大きな問題を抱えている。コスト削減と電気料金の透明度を上げるために電気事業法を改正し、一般の事業のように競争と企業努力が消費者の目に見える制度にすべきである。

【説明の実施及び情報公開】

- 電気料金の妥当性を事後的に継続的に評価する仕組みが必要であり、これは経済産業省だけでなく、消費者庁や消費者委員会も関与できる仕組みとすべきである。そのためには企業による徹底した情報公開が必要であり、毎年、消費者に対して経営効率化を含めた情報を説明すべきである。
- 収益に関係することから、所有の土地、不動産、株式等の資産について極力公開し、不用品な資産は売却するなどの取組をすべき。

【原発】

- 「原子力バックエンド費用」の説明図は既に絵空事になっている。事実、六ヶ所村は使用済み核燃料の受入れをしておらず、各原発には使用済み核燃料が山積みされており、核リサイクルの最終到達点である「もんじゅ」は廃炉が決定している。近隣諸国がここ10年程度で原発の倍増計画を持っているなかで、日本が原発を全部停止した場合に本当に経済的な競争力を持つか、複雑な問題もある。

<中部電力に対する固有の意見>

【経営効率化：人件費関係】

- 役員報酬について 1,800 万円としているが、赤字が是正されるまでは、経営責任としてもっと減額することも必要ではないか。
- 給与手当については、(削減の内容について)一定の評価はできるものの、経営に関わりの深い管理職については、より一層厳しい削減が必要である。

【経営効率化：燃料費、調達、購入電力量、修繕費、減価償却等】

- 燃料費については、他の電力会社と協調して政府のバックアップのもと燃料価格を下げるような交渉を輸入国とするなり、価格の安い例えば石炭を購入できるような交渉をするなりして、燃料費の低減を促してほしい。
- 今回の値上げの最大の理由が燃料費というが、そうであれば、安い燃料を使うとか、例えば石炭発電の更なる効率化を図るとか、水力発電の稼働率を上げるなどの努力をしてほしい。
- 燃料単価の上昇や使用量の増加による火力燃料費の増大が値上げの理由と言うが、前者については燃料費調整制度で毎月消費者が負担している。前者と後者の区別をはっきりせずに、燃料費が上がったから値上げをさせてください、という中部電力の説明は、間違いである。
- 2013 年の中部電力のアンニュアルレポートでは燃料調達における安定性、経済性、柔軟性の向上の取組ということで LNG や石炭といった燃料調達について記載があったが、LNG や石炭の調達量の目標値と、その実現による消費者への具体的なメリットを示してほしい。
- 設備投資について、原発が停止している現状に鑑み、将来の電力供給のベストミックスとは何かを見直した上での重点的かつ積極的な投資も必要である。例えば、先日報道された茨城での石炭火力発電所計画は、将来を見据えた安定供給に必要な投資であり評価できる。
- 火力発電所で非常に熱効率が高いコンバインドサイクル化を進めれば、経費全体における燃料費の比率が下がっていくのではないか。

【選択約款】

- 料金支払い制度について、早遅収料金制度が延滞利息制度に変更されることについては評価する。
- 複雑な料金制度は、消費者から見て本当に得かどうか判断できず、かえって不信感を生み出すだけである。省エネや資源保護につながる、根拠が明確な制度を示してほしい。

【原価算定方法・値上げ全般】

- 来年 4 月からの消費税率の引上げを織り込むと、実質的には 6 %以上の値上げになる。経済は一部上向きと言われているが、その恩恵を受けている人とそうでない人の差は大きいと思われる。そういう中で、公共料金である電気料金が一律に値上げされれば、非常に厳しい生活を送られている人ほど負担感が強くなるということを十分認識してほしい。

○平成 24 年度は、規制部門が 43 億円、自由化部門が 584 億円の赤字であるが、赤字のうち 93%は自由化部門が占めている。一方で電気料金の単価は自由化部門が規制部門より 10 円以上安くなっている。規制部門に一方的に値上げを押しつけるのは納得できず、むしろ契約の段階で料金交渉ができる自由化部門で値上げの話をきちんと進めていただきたい。

【説明の実施及び情報公開】

- 各戸に配られた電気料金値上げ説明のリーフレットには浜岡原発の全機停止による火力燃料費への影響額が 3,000 億円程度/年と説明されているが、この詳細を説明すべき。また、徹底した効率化とあるが、その成果である経費削減の金額も記載されていない。説明不足である。
- 説明会を各県で開催し、場合によっては出前説明会を開催するなどして、市民の方が納得できた上で値上げを実施していただきたい。
- 今は各家庭へのチラシ配付のみであるため、ほとんどの消費者が 4 月に値上げされた料金の支払（クレジットカード払）時に料金値上げに気づき、6 月くらいに消費生活センターに問合せが来ると思うので、しっかり対応できるようにすべき。

【原発】

- 今回の料金値上げは、現在運転停止ししている浜岡原発を再稼働することを前提に算出していることに疑問がある。中部電力は、4 号機を 2016 年 1 月に、3 号機を 2017 年に再稼働すると発表した。現時点でも原子力規制委員会に再稼働申請をしていない。認可されていないのに、なぜ再稼働が認められたことにして料金を算定するのか。
- 原発のバックエンドシステムが機能する見通しが無いのに、今回、原子力バックエンド費用として 173 億円を原価に算入しているのは納得できない。
- 原発を稼働させるのであれば、値上げをすべきではない。
- 浜岡原発は、発電するしないにかかわらず、年間約 1,000 億円といわれる維持管理費を支払っている。また、再稼働のため、総額 3,000 億円といわれる安全対策工事費をかけているが、これらは電気料金の中から支出されているのではないか。こうした値上げなら反対である。
- 原発は未稼働時でも稼働時の 8 割くらいの費用がかかるといわれている。発電していない原発の維持費を支払いながら発電している火力発電の燃料費も支払うという、二重の費用負担となっている。ここは、原発を廃炉にし、原発の維持費を火力発電の燃料費に回すという決断を中部電力はすべき。
- 浜岡原発では現在、津波対策として 1,300 億円といわれる費用をかけて堤防をつくっているが、津波が来る以前に地震でダウンするのではないか。マグニチュード 6.5 の駿河湾地震の時は配管が外れて原子炉が 3 カ月くらい停止した。今、言われている地震はマグニチュード 9 くらいであるため、とても耐えられないと思う。そのくらい、地盤が非常に弱い。
- 川勝知事が再稼働の条件としている、乾式貯蔵施設の費用は今回の原価に含まれているのか。こうした燃料プールから乾式貯蔵施設への移行を急ぐべきであるのに、一方で、フィ

- ルターベントの設置が先行している。これは、中部電力が再稼働を目指して急いでいることを明らかにしているものであり、中部電力の安全への取組に不信を抱かざるを得ない。
- 今回 PR 費用として、原発への理解を深めてもらうため、浜岡原発への見学会費用に力を入れるとしているが、これは本当に認められていいのか非常に疑問である。
 - 今までの安全神話でなく、本当に安全なのですということを、再稼働や新たな原発をつくる提案をする側は、きちんと説明すべき。ましてや地盤が弱く、世界一危険とされる浜岡原発に事故が発生すれば、30 キロ圏内には東海道新幹線や東名など日本の全てのライフラインが含まれていることから日本の経済がとまってしまう。そういう意味でも再稼働すべきでない。
 - 購入電力料のうち、日本原電及び北陸電力への支出等、電力供給を伴わないものについては支払うようなことはおかしい。
 - 芦浜原発の立地計画は 2000 年に白紙撤回されたが、それにもかかわらず、買収した土地について中部電力は持ち続けている。これで聖域なき経費節減といえるのか。

【環境への取組み】

- 中部電力は今までも原発依存度が他電力に比べて低かった。原発を再稼働させるのではなく、化石燃料・自然エネルギーを中心としたエネルギー政策とるべきである。
- 自然エネルギーへシフトはまだすぐにできないのは理解できるどころ、その発電力をもっと効率のよいものにする努力をお願いします。一方で、碧南の火力発電所について、石炭火力であり CO2 の排出というのがあるが、バイオマスを混ぜるなどして Co2 を削減に努力していると聞いた。このような方法も一時的に取り入れながら、ゆくゆくは自然エネルギーに転換するよう、努力願いたい。

以上